

ソア・システムズの開発ツール「ル・クローン」

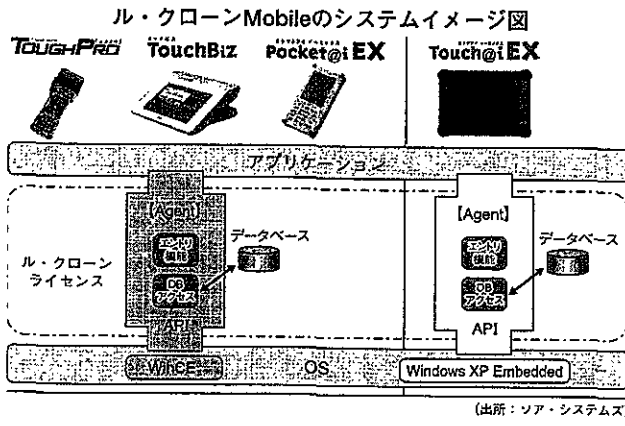
NECインフロンティアの業務用小型端末4種に対応

ソア・システムズ(員塚昭明社長)とNECインフロンティア(木内和宣社長)は、ソア・システムズのアプリケーション開発ツール「ル・クローンモバイル」がNECインフロンティアの業務用小型端末4機種に対応したと発表した。今回の対応により「販売の裾野が拡大して売れやすくなった。前年比120%達成のための大きな武器になる」と期待する。(NECインフロンティア・松本博事業部長)と語っている。

ソア・システムズのル・クローンは、基幹業務システムや携帯電話/小型情報端末向け業務アプリケーションの開発ツール。基本的にはすべての環境を捉えているほか、マルチプラットフォーム、生産性の

特徴は「ローカル処理アプライケーション開発を得意とする開発パッケージで、高き、データベースをそのまま使える(員塚社長)などを挙げている。実績10万ライセンス

今回、NECインフロンティアの業務用小型端末に対応したのは、98年に出荷開始したル・クローンモバイル。金融・製造・公共・小売業向けアプリケーションのハンディターミナル/ PDAを中心に幅広く活用され、出荷10年で10万ライセンスの実績をなっている。



開発したアプリケーション資産が無駄にならないメリットがある。ル・クローンモバイル対応機種は、OSにウインドウズCE5.0を搭載した業務用PDA「ポケットアイEX」、プリンタ内蔵ハンディターミナル「タフアイEX」、タッチパネル端末「タッチビス」、OSにウインドウズXPエンプテッド

「O/Eの負担を軽減できるほか開発資産の有効活用が可能になる。4機種とも競争力の高さを誇っているが、特にタッチアイEXは他社にないコンセプト製品であり差別化できる」と(松本事業部長)という。新商品の価格は、ポケットアイEXが10台、開発ツ

ドを搭載したタッチパネル液晶モニター「タッチアイEX」。

開発資産を有効活用

「O/Eの負担を軽減できるほか開発資産の有効活用が可能になる。4機種とも競争力の高さを誇っているが、特にタッチアイEXは他社にないコンセプト製品であり差別化できる」と(松本事業部長)という。

新商品の価格は、ポケットアイEXが10台、開発ツ

ル一式、エージェント10式、赤外線などの周辺機器を含むモデル構成で220万円(税別)。両社の販売ルートを通じて展開し、今後1年間で1万台(エージェント利用端末台数ベース)の販売を目指している。